

西脇知事と行き活きトークが開催されました!

平成30年9月2日(日)、綾部市で西脇知事と行き活きトークが開催されました。今回のテーマは「地域を守る消防団～魅力ある消防団を目指して～」をテーマに、5名の消防団員の方にご参加いただき、消防団のこれからについて、西脇知事と意見交換を行いました。今回のニュースレターでは、その模様をお届けいたします!

大会概要

◇日時 平成30年9月2日(日) 13:00～14:15

◇場所 綾部市研修センター

◇参加者

西脇 隆俊 京都府知事

綾部市消防団 部長

綾部市消防団 団員

大谷大学FAST発起人

室垣 成樹さん

新庄 美和子さん

笹原 力さん(京都市北消防団 団員)

◇テーマ

地域を守る消防団 ～魅力ある消防団を目指して～



◇綾部市消防団 団員 山室 崇成 さん

「入団したくないな…」という気持ちを抱えながら、消防団に入団された山室さん。今では考え方が180度変わり、消防団活動が自身の生きがいに。7月の豪雨では現場で行方不明者の捜索にもあたられ、「もう二度とこんなことがあってほしくない。避難の重要性を改めて感じ、消防団としても、空振りであっても勇気を持って避難誘導をしていきたい」と話されました。

◇綾部市消防団 団員 新庄 美和子 さん

保育士として働かたわら、ラッパ隊や防火予防啓発活動に取り組む新庄さん。「家庭や仕事の都合で活動が制約されることもあるが、消防団応援の店制度など、地域でも活動を応援してくださっているので、もっと入団者が増えれば」と話されました。「女性ならではの視点で、これからも地域のために活動していきたい。」と、やわらかい表情で語られました。



◇大谷大学FAST発起人(京都市北消防団 団員) 笹原 力 さん

学生のうちから社会貢献がしたいとの思いから、消防団に入団した笹原さん。大学では自ら消防防災サークルを立ち上げるなど、精力的に活動。「消防団に入り、困ったときに何でも気さくに相談できるもう一つのコミュニティができた。実火災現場に出動になった時は、指示を待つだけでなく、自ら率先して行動していく力が身についた。」と話す姿は大変たくましく、力強く感じました。

◇綾部市消防団 団員 岩崎 孝弘 さん

岩崎さんは、今年の京都府消防操法大会に所属する分団が出場したことを受け、自身の心境の変化を語っていただきました。「操法大会の訓練は体力的にもきつく、大変だったが、1つの目標に向かってみんなで真剣に頑張ることはそうそうあるものじゃない。しんどかったからこそ、みんなで頑張れた喜びはひとしお。」「消防団活動に対する家族や職場、地元の理解が本当にありがたく、活動をする上で重要なこと」と話されました。



◇綾部市消防団 部長 室垣 成樹 さん

「一度は入団を断った」と言う室垣さん。先輩団員からの2度目の熱い勧誘を受け、入団を決意。「火災や水害出動時に、全団員が事故なく気持ちよく活動をしていただき、無事に帰ってもらえることが何より最優先。」と部長としての心がけを語られました。団員の確保にも苦慮されているとのことで、「消防団が地域になくてはならない存在だということをもっと知ってもらえれば、入団につながるのでは」との意見もいただきました。



【西脇知事から】

「消防団に対する期待は、非常に大きい。今回の話を受けて、消防団の方がいかに苦労されているか、活躍されているかを行政がPRすること、処遇の改善や装備の充実、女性や学生といった新たなフィールドを広げていくことも非常に重要であると感じた。

消防団は崇高な使命であるが、これからも無事に活動ができるよう安全に配慮をしながら、地域の安全・安心のために御協力いただきたい。」とエールを送られました。



ご参加いただいたみなさん
ありがとうございました!